

平成30年3月8日

日本の森を守る地方銀行有志の会

地方銀行64行が加盟しております「日本の森を守る地方銀行有志の会」では、加盟各行が地元で行っております活動を、定期的にお知らせいたします。

池田泉州銀行「環境保全活動」の実施について

池田泉州銀行（頭取 藤田博久）は、緑を増やすことで地球温暖化を防止し、次世代の子供たちや動物が暮らしやすい環境を残すことを願って、さまざまな活動に積極的に参加しております。

今般、下記のとおり大阪府が主催する「第15回共生の森 植樹祭」に当行職員とその家族がボランティアとして参加しました。

この共生の森は、大阪府やNPO、企業等の団体が協働で、堺市臨海部の廃棄物処分場跡地で森づくりを進めているもので、野鳥や小動物が生息する“ビオトープ”を創造していこうという取り組みで、今回の植樹活動は、当行が加入しております「日本の森を守る地方銀行有志の会」（※）の設立10周年記念事業として参加いたしました。

なお、当行は平成21年より継続して共生の森の環境保全活動に年2回（春・秋）参加しております。

※日本の森を守る地方銀行有志の会

全国の地方銀行が、森づくりの情報をネットワーク化し、森を守る活動を推進していくことを目的として平成20年7月に設立され、平成30年に設立10周年を迎えます。

記

日時：平成30年3月3日（土）
場所：共生の森（大阪府堺市）
内容：植樹活動



以上